

**特定保守製品**

**バス換気乾燥機 工事説明書**

|    |            |
|----|------------|
| 品番 | FY-14UWLM3 |
|----|------------|

**特定保守製品に関するお願い**

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。  
 ■特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものであるとして法令で定めるもの」です。  
 ■付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。  
 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

**安全上のご注意** **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
 ■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を区分して、説明しています。

- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）
  - してはいけない内容です。
  - 実行しなければならぬ内容です。

**警告**

- 設置工事はお買い上げの販売店または、専門業者に依頼する
  - ご自分で設置工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。
- 仕様変更・改造は絶対にしない
  - 火災、感電、けがの原因となります。
- 内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない
  - 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- 配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事が確実におこなう
  - 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。
- アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する
  - アースを取らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
- 電源電線は確実に接続する
  - 不確実な接続をすると接続部が過熱し、火災のおそれがあります。
- 電源電線は確実に固定する
  - 揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因となります。
- 強い振動や衝撃を与えない
  - ヒーター管が破損し、感電やガラス破片によるけがの原因になります。
- 必ず交流100ボルトで使用する
  - 守らないと火災・感電の原因となります。
- メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造営物に設置する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
  - メタルラス、ワイヤラス、ステンレス板などに接触しているとき、漏電の原因となります。
- 衣類吊り下げ用パイプは、本体から350mm離す
  - 本体に近づき過ぎると、衣類の変色や火災のおそれがあります。
- コンセントおよび換気扇用スイッチは使用しない
  - 漏電、感電や火災のおそれがあります。

**注意**

- 本体は、確実に取り付ける
  - 落下により、けがをすることがあります。
- 本体は、十分強度のあるところにしっかりと取り付け、強度不足の場合には補強する
  - 取付けに不備があると、落下により、けがをすることがあります。
- 湯泉に取り付けけない
  - 破片が飛散し、感電やガラスの破片によるけがの原因となります。
- 本体は指定の方法で確実に取り付ける
  - 落下により、けがをすることがあります。

**お願い**

- 油煙の発生する場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
- 高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けしないでください。モーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。
- 製品本体は傾かないよう（水平）に設置してください。
- ヒーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。
- 浴室の広さは、以下をめやすとしてください。ユニットバス1坪タイプ（内寸1.6m×1.6m）まで在来工浴室1坪タイプ（内寸1.6m×1.6m）まで一坪を超える浴室および、下記①～④の浴室では、室温がほとんど上昇しないことがあります。
  - ①窓が大きいとき
  - ②浴室の容量が大きいとき
  - ③タイル貼りの面積が大きいとき
  - ④その他、浴室の密閉性や断熱性が悪いときなど
- スプレーを使う場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
- 効果的な換気のため給気口を設けてください。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
- 製品下方に窓がある場合は、窓にブラインド設置をおすすめします。
- リモコンは直射日光が当たるところや、シャワー等の水がかかりやすいところには取り付けしないでください。
- 専用の漏電遮断器をご使用になる場合は、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものを必ずお選びください。
- リモコンは直射日光が当たるところや、シャワー等の水がかかりやすいところには取り付けしないでください。
- リモコンは直射日光が当たるところや、シャワー等の水がかかりやすいところには取り付けしないでください。
- ヒーター管を棒などで触らさないでください。破損の原因になります。

**お願い**

■製品吹出口の横の壁面は約75℃に上昇する場合があります。熱による変形のおそれがないか事前にユニットバスや壁材のメーカーにご相談ください。  
 ■このバス換気乾燥機の質量は5.4kgあります。  
 ■配線工事および、D種接地工事（旧第3種接地工事）（100Ω以下）は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事が確実におこなってください。  
 ■アース棒の埋設場所について
 

- 【適する場所】アース棒は常に湿気のある所など適切な場所を選定して埋設してください。
- 【避ける場所】
  - 1) 地下埋設場所（例：ガス管、水道管、地下ケーブル、引込管等）
  - 2) 避雷針や電線のアースから2m以内
  - 3) ガス、酸などで腐食のおそれがある場所
  - 4) 人通りがけい場所

■この製品は、背後の浴室壁面または、浴室天井面に電源電線及び外部運動換気扇用電線を取り出すための貫通穴をあけることが必要です。取り付けには必ずお客様の了承を得て穴をあけても支障のない面を選んでください。また、壁面の場合、結線作業をやりやすくするため、外部に面する壁面を選んでください。

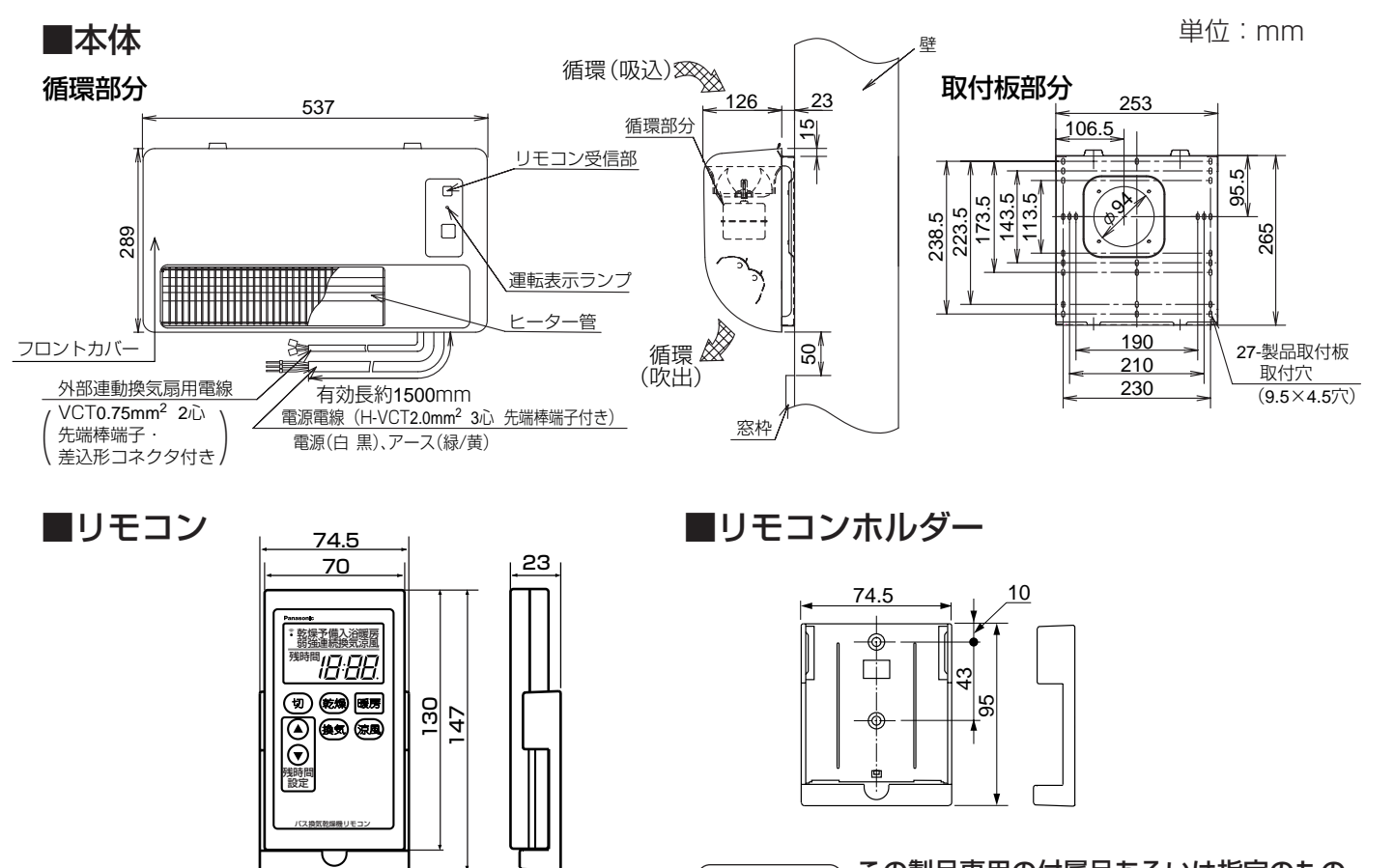
■この製品を取り付けると、換気扇用壁スイッチは使用できなくなります。換気扇の操作は付属のリモコンでおこなってください。

■この製品で運動できる換気扇は、以下のものに限ります。
 

- ① a.c. 100Vで風量切換えがないこと。
- ② 引きも式スイッチでないこと。
- ③ 消費電力が4～50Wであること。
- ④ バス換気乾燥機と換気扇を結ぶ結線の合計長さが、同様の外部運動換気扇用電線を含め、4m以下の範囲にあること。

推奨品番  
 天井埋込型 FY-17C7、FY-24C7  
 バイブファン FY-12PTU8、FY-12PTS8  
 中筒ダクトファン FY-16DSA2

**各部の名称と寸法**



**お願い** この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

■付属品 末尾の数字は数量をあらわしています。

- タッピンねじ（φ4×50）……6（取付板部分取り付け用）
- タッピンねじ（φ4×6）……2（循環部分取り付け用）
- さらねじ（φ4×25）……2（リモコンホルダー取り付け用）
- 差込形コネクタ……3（電線接続用）
- キャップ……5（電線接続用）
- 棒端子……2（換気扇配線コード接続用）
- 取扱説明書……1（必ずお客様にお渡しください。）
- 工事説明書……1（必ずお客様にお渡しください。）
- 取付設置業者様へのお願い……1
- 乾電池（単4形）……2

■所有者票セット……1セット（フロントカバー裏面に付属）（必ず特定保守製品取引事業者またはお客様にお渡しください。）

■現場で用意してください。

|             |  |    |
|-------------|--|----|
| 漏電ブレーカー     | 過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格電流15mA・動作時間0.1秒以下）                    |    |
| 電源電線        | VVFケーブルφ1.6またはφ2<br>銅線直径φ1.6以上<br>（または断面積が2mm <sup>2</sup> 以上） | 適宜 |
| アース線        |  | 適宜 |
| アース棒        |  | 適宜 |
| 防水ジョイントボックス | WJ4100（パナソニック（株）製）相当品（外壁で結線する場合）                               | 1個 |
| ジョイントボックス   | WJ3107（パナソニック（株）製）相当品（天井裏で電線を接続する場合）                           | 1個 |
| 衣類吊り下げ用パイプ  | 耐荷重4kg以上 ステンレス製などの錆にくいもの                                       | 適宜 |
| 合成樹脂管       | 内径φ25以上の塩ビ管など  | 適宜 |
| ケーブル用モール    | （天井裏で結線する場合）   | 適宜 |
| シリコン・パテなど   |  | 適宜 |

**1 取り付け可能位置**

1. この製品は、背後の浴室壁面または、浴室天井面に、電源電線及び外部運動換気扇用電線を取り出すための貫通穴をあけることが必要です。取り付けには、必ずお客様の了承を得て、穴をあけても支障のない面を選ぶこと。

2. 製品の周囲に適切なすきまがあること。さらにこの範囲には造営物（照明器具・手すりなど）を一切設置しないこと。（確保できない場合は、性能を十分に発揮できなかつたり、浴室壁面、造営物を熱により焼くことがあります。）

■製品天井から天井面まで、50mm以上  
 ■製品左側面から壁面まで、150mm以上  
 ■製品右側面から壁面まで、10mm以上  
 ■壁面の耐熱温度が低い場合は、下グラフを参照し、上記以上に壁面と本体の距離を確保してください。

3. ヒーターの輻射の方向は、洗い場に向くこと。（ヒーターの輻射の方向が洗い場に向かない場合は、性能が十分発揮できません。）

■高さには、下図を目安として決めてください。  
 C寸法

■左右の位置は、右上図のように洗い場中央を向くように決めてください。  
 ■浴槽に入っている人の正面、洗い場にいる人の正面には取り付けしないでください。（ヒーター管がまぶしく感じられたり、風があたって寒く感じる場合があります。）

**2 取付板の取り付け1**

1. 取付板のねじ締め位置（6か所）に下穴をあける。  
 ■浴室内・外壁の現状確認をおこない、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくか、事前に補修をおこなってください。  
 ■タイル・タイル目地等の下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。  
 ■ねじ締め前には下穴の周囲にシリコンを塗布してください。  
 ■下穴は、壁面の材質に合わせてあけてください。

2. 取付板を付属のねじ（6個）で固定する。  
 ■この製品は5.4kgあります。取付板は、堅固に、また確実に取り付けください。  
 ■特に、ユニットバス等、中空構造壁の場合、市販のアンカープラグ（サンコーテクノ（株）製ボドフアスター BS TYPE）などを使用して、確実に取り付けてください。  
 ■取付ねじの周囲にシリコンを塗布してください。  
 ■水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。

|         |        |        |         |
|---------|--------|--------|---------|
| BS TYPE | BS-405 | BS-409 | BS-416  |
| 適用板厚    | 1～5mm  | 3～9mm  | 10～16mm |

**3 取付板の取り付け2**

**外壁で電線を接続する場合**

1. 取付板の丸穴（φ94）内の適当な位置に電線取出穴をあける。  
 ■電線取出穴は壁面センサーを用いるなどして、壁裏の凹柱、筋かい、ユニットバスの補強塊などを回避してください。  
 ■電線取出穴の穴径は、使用する合成樹脂管（内径φ25）の外径に合わせてください。  
 ■浴室から水漏れ防止のため、電線取出穴に右図のように勾配をつけてください。

2. 電線取出穴に市販の合成樹脂管（内径φ25）を通し、コーキングで固定する。  
 ■合成樹脂管は、コーキング代として、壁厚より10～15mm長く切断してください。また、切断した端面は、リーマーなどで端口の処理をおこなってください。

**天井裏で電線を接続する場合**

1. 天井裏の壁面に近い適当な位置に電線取出穴をあける。  
 ■電線取出穴の穴径は、φ25で開けてください。

**4 循環部分の取り付け**

**外壁で電線を接続する場合**

1-1. 循環部分の引掛け穴を取付板のツメに引っ掛け、そのままの状態では電源コード及び外部運動換気扇用電線を合成樹脂管に通す。  
 ■取付板の丸穴（φ94）の壁面で電源電線及び外部運動換気扇用電線を破損しないよう十分注意してください。

1-2. 湿気やすきま風などがもれないよう、合成樹脂管の浴室側をパテなどで仕上げ。

**天井裏で電線を接続する場合**

1. 循環部分の引掛け穴を取付板のツメに引っ掛ける。

**共通**

2. 循環部分のツメが取付板の内側に差し込まれていることを確認し、循環部分を取付板に固定する。

**お願い**  
 循環部分のツメが本体取付板の内側に入っていないと固定できません。

3. 付属の循環部分固定ねじ（2個）を締め付ける。

**天井裏で電線を接続する場合**

4. 電源電線及び、外部運動換気扇用電線を天井裏へ通し、浴室内に露出している電源電線及び、外部運動換気扇用電線をケーブル用モール等で覆う。

5. 湿気やすきま風などがもれないよう、天井に開けた穴の浴室側をパテなどで仕上げ。

**5 電源の接続**

**共通**

1. ジョイントボックス（市販品）の中で、電源電線（アース線含む）および外部運動換気扇用電線を付属の差込形コネクタを使い、右の結線図に従って結線する。  
 2. 差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせる。（5か所）  
 運動する換気扇を接続しない場合も、外部運動換気扇用電源先端の差込コネクタは取り付けられた状態で、付属のキャップを奥までかぶせてください。

**電源電線（黒）を接続する場合**

■電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。  
 ■電源電線のアース線（緑・黄）は必ず接続してください。[D種設置工事（旧第3種設置工事）]  
 ■現場配線電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。  
 細い心線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。  
 ■電源電線または外部運動換気扇用換気扇用電源は途中で切断しないでください。  
 ■換気扇のアース線は絶対にはずさないでください。  
 ■プラグは使用しないでください。  
 ■本体電源電線の白色線を屋内配線の接地側に接続してください。  
 屋内配線が正しく行われているか、極性確認をしてください。  
 ■電源は必ずa.c. 100Vを使用し、各電源電線先端の棒端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。  
 ■換気扇用壁スイッチは使用できなくなりますので、スイッチカバー等でふさいでください。  
 ■電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。

**外壁で電線を接続する場合**

必ず防水タイプのジョイントボックスを使用してください。

3. 湿気やすきま風などがもれないよう、合成樹脂管の外壁側をパテなどで仕上げ、防水ジョイントボックスを使用し電線を接続する。

**天井裏で電線を接続する場合**

3. ジョイントボックスを使用し電線を接続する。

**6 リモコンホルダーの取り付け**

1. 取付位置を決定する。（取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください）

■浴室外壁設置の場合  
 ■リモコンには約50cmのチェーンがついています。取付位置は浴室の天井を開けてリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置にしてください。

■浴室内設置の場合  
 ■浴室内に設置する場合は、シャワー等の水がかかりにくい場所に設置してください。浴槽付近は、浴槽の上面よりリモコン下部まで650mm以上、上方に取り付けてください。

2. リモコンホルダーを付属のさらねじで固定する。（2か所）  
 ■取付位置が石膏ボードやタイルの場合、ネジが効かないことがありますので、その時は市販のアンカープラグを使用してください。

■浴室内設置の場合はねじは必ずコーキング処理をおこなってください。ほみ出したコーキング材はふき取ってください。

3. リモコンホルダーに収納する。  
 ■チェーンはリモコンホルダー下部に収納することができます。

**7 衣類吊り下げ用パイプの取り付け**

右記の位置に、衣類吊り下げ用パイプ（市販品）を取り付ける。  
 ■衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり4kg以上の重量に耐えるステンレス製などの錆にくい品物を選んで取り付けてください。  
 ■衣類吊り下げ用パイプの取付位置は、必ず右記の寸法で取り付けてください。（指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります。）

**8 試運転**

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転をおこない異常がないか確認する。異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな」のページを参照する。  
 ■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

**9 確認事項のチェック**

| 右記の確認にしたいが、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。 | チェック内容                          | チェック欄 |
|--|---------------------------------|-------|
|  | 製品と壁面および造営物の間に適切なすきまがありますか？     |       |
|  | 衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は350mm離れていますか？ |       |
|  | 異常音はありませんか？                     |       |
|  | 電源電線・アース線の接続は確実ですか？             |       |

# 取付用型紙

工事の際、壁面に貼り付けてご使用ください。（浴室内から見た図になっています）  
 なお、この型紙の寸法は湿気などにより変化しますので、寸法を確かめてご使用ください。

